



HARMAN

SMARTBASE

取扱説明書

安全上のご注意

- 使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 誤った使用方法や取り付け方法により生じた損害に対しては補償できかねますので、ご了承ください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

警告 この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

注意 この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

- | | | | |
|--|-------------------------|--|--|
| | 禁止(してはいけないこと)を示す記号です。 | | 水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。 |
| | 分解してはいけないことを示す記号です。 | | 指示に基づいた行為の強制(必ず実行していただくこと)を示す記号です。 |
| | 濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。 | | 電源アダプタをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。 |
| | 触れてはいけないことを示す記号です。 | | |

警告

- ❗ ACアダプタは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。万一の場合、ACアダプタを容易に引き抜くためです。
- ⊘ 付属品以外の電源コードは使用しない。火災の原因になることがあります。
- ⊘ 付属品のACアダプタを他の機器に転用しない。火災の原因になることがあります。
- ⊘ 船舶などの直流(DC)電源には接続しない。火災の原因になります。
- ⊘ 電源コードを束ねた状態で本機を使用しない。火災・感電の原因になります。
- ⊘ 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。電源コードが破損して火災・感電の原因になります。
- ❗ 電源コードが破損した場合(芯線の露出や断線など)には、販売店または弊社サービスセンターに交換(有償)を依頼する。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
- ⊘ タコ足配線しない。発熱により火災・感電の原因になります。
- ⊘ テーブルタップ(延長コード)を使用しない。発熱により火災・感電の原因になります。
- ⊘ 雷が鳴りはじめたら、電源アダプタには触れない。感電の原因になります。
- ⊘ 電源コードの上に重いものをのせたり、電源コードを本機の下敷きしない。電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 🔥 煙が出る場合、異常なおいや音がある場合は、すぐにACアダプタをコンセントから抜く。煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社サービスセンターに修理を依頼してください。

注意

- ⊘ 濡れた手でコンセントを抜き差ししない。感電の原因になります。
- 🔌 長期間本機を使用しないときは、ACアダプタをコンセントから抜く。火災・感電の原因になります。
- ⊘ ACアダプタを抜くときは、電源コードを引っばらない。電源コードが破損して火災・感電の原因になることがあります。
- ❗ ACアダプタは、コンセントの根元まで確実に差し込む。ACアダプタを正しく差し込まずに本機を使用すると、火災や感電の原因になります。
- ⊘ ほこりや湿気の多い場所に設置しない。ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因になります。
- ⊘ 不安定な場所や振動する場所に設置しない。本機が落下や転倒して、けがの原因となります。
- 🔄 移動するときには電源スイッチを切り、すべての接続を外す。接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。
- 🚫 薬物厳禁 ペンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また、接点復活剤を使用しない。外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

Bluetooth® に関するご注意

本機は、2.4GHzの周波数帯の電波を利用しています。この周波数の電波は、一般家庭でもいろいろな機器(電子レンジやコードレス電話など)で使用されています。以下のような場所で本機を使用する場合、送信/受信ができなくなることがあります。

- 2.4GHzを利用する無線LAN、また電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ。(環境により電波が届かない場合があります。)
- ラジオから離してお使いください。(ノイズが出る場合があります。)
- テレビにノイズが出た場合、本機(および本機対応製品)がテレビ、ビデオ、BSチューナー、CSチューナーなどのアンテナ入力端子に影響を及ぼしている可能性があります。本機(および本機対応製品)をアンテナ入力端子から遠ざけて設置してください。

注意

- 本機の使用によって発生した損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本機は、全てのBluetooth機器との接続動作を保証するものではありません。
- 弊社ではお客様の接続機器に関する通信エラーや不具合について、一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

安全にお使いいただくために

- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは使用しない。電子機器に誤動作するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
- 航空機内や病院など、使用を禁止された場所では使用しないでください。電子機器や医療用電気機器に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。医療機関などの指示に従ってください。

ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、ペースメーカー、その他医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他自動制御機器など。ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用される方は、該当の各医療用電気機器メーカーまたは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

電波法に基づく認証について

本機は電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の行為を行うと法律により罰せられることがあります。

- 本機を分解/改造すること。
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。

周波数について

この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFHSS(周波数拡散方式)を採用し、想定される干渉距離は約10mです。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、弊社サービスセンターにご連絡頂き、混信回避のための処置等(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社サービスセンターへお問い合わせください。



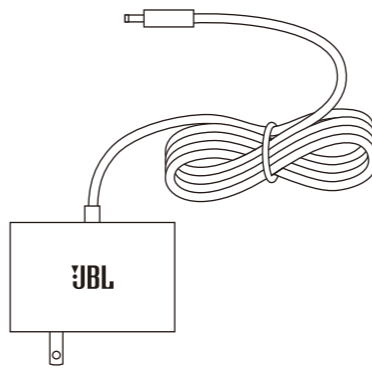
運転中の操作についてのご注意

- 自動車を運転しながらのスマートホンや本機の注視や操作は、意識が集中してしまい、周囲の危険を発見することができず、歩行者や他の車に衝突するなど、重大な交通事故につながり得ます。スマートホンや本機の注視や操作は、必ず安全な場所に停止した状態で行ってください。
- 常に実際の交通規則に従い、安全に配慮してご利用ください。

付属品

お使いになる前に、以下の付属品がすべてそろっていることをご確認ください。

□ ACアダプタ



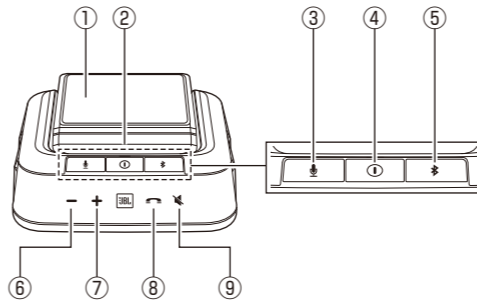
□ シガーソケットアダプタ



- パッド保護用シリコンカバー
- 六角レンチ
- 日本語取扱説明書(本紙)
- 多言語取扱説明書
- 保証書(日本国内用)

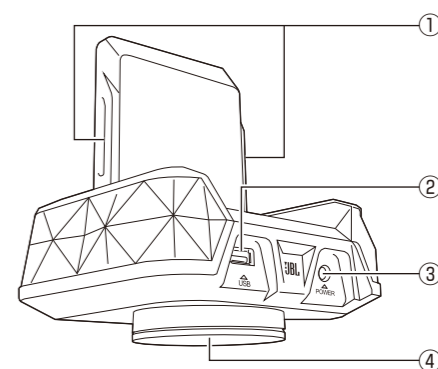
各部の名称とはたらき

▶ 前面 / 上面



- ① **パッド**
Qi(チー)対応のSMARTBASEの場合、Qi対応スマートホンのワイヤレス充電ができます。ご使用の前に、保護シートを取り外してください。
- ② **RELEASE / LOCK(リリース / ロック) ボタン**
押すとパッドが起き上がります。パッドをたたむときは、このボタンを押しながらパッドを押し込みます。
- ③ **音声アシスタントボタン** (🗣️)
- ④ **電源ボタン** (🔌)
電源を入れる / 切るたびに電子音が鳴ります。電源が入っているときは、青色で点灯します。
- ⑤ **Bluetooth ボタン** (📶)
- ⑥ **音量-ボタン**
- ⑦ **音量+ボタン**
- ⑧ **ハンズフリーボタン** (📞)
- ⑨ **音声ミュートボタン** (🔇)

▶ 背面 / 底面



- ① **高さ調節ボタン**
パッドの両側のボタンを押しながらパッドの高さを調節することができます。
- ② **USB 端子**
Qi(チー)対応のSMARTBASEの場合、USB端子はメンテナンス用途に使用されます。本端子を使ってスマートホンなどを充電することはできません。
- ③ **POWER(電源) 端子**
- ④ **吸盤**

▶ 吸盤とパッドについて

設置場所の状態によっては、吸盤の吸着力が弱くなる場合があります。

ホコリの出にくいウェットティッシュやアルコールティッシュなどで設置場所を拭いて汚れを落とし、吸着力が弱まらないようにしてください。

ご注意

- 本機には防水機能がありませんので、水洗いはしないでください。
- 乾いた布やティッシュでは拭かないでください。また、ブラシやタワシを使わないでください。表面に傷がつくと吸着力が弱まります。
- 吸盤やパッドを利用中に、水がかからないようにしてください。

設置する

▶ 準備

本機を設置する場所（車のダッシュボード、机上など）を、あらかじめアルコールティッシュやウェットティッシュでよく拭いてきれいにしておきます。

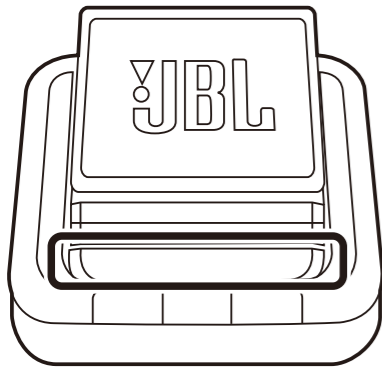
設置するときは、拭いた面が十分に乾いていることを確認してください。

ご注意

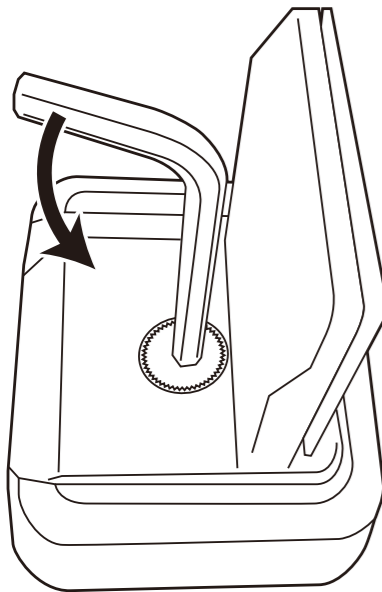
設置面に油分やホコリ、水分などが残っていると吸着が弱くなり、本機が外れやすくなりますので、必ずよく清掃してください。

▶ 設置

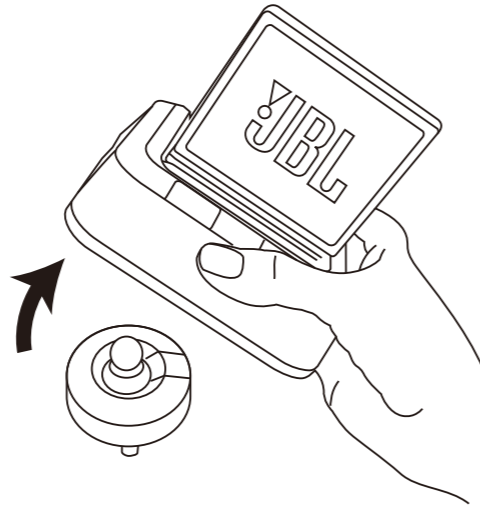
① RELEASE / LOCK ボタンを押し、パッドを起こす。



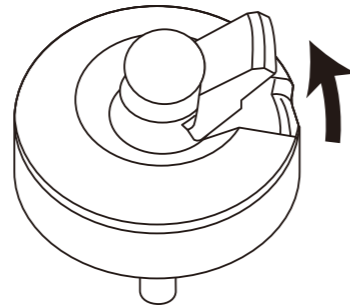
② 添付されている六角レンチを使って銀色のネジを緩めて外す。



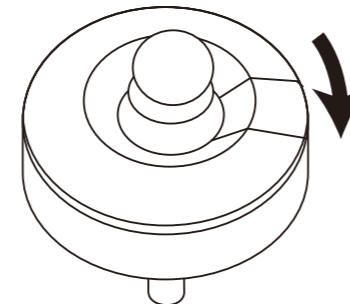
③ 本体から吸盤部品を取り外す。



④ 取り外した吸盤部品のレバーを上を持ち上げる。



⑤ 吸盤側の保護シートをはがして、吸盤部品を設置場所に貼り付ける。レバーを倒すことで吸盤の空気が抜けてしっかりと固定されます。10秒ほど上からしっかり押さえて、固定されたことを確認してください。



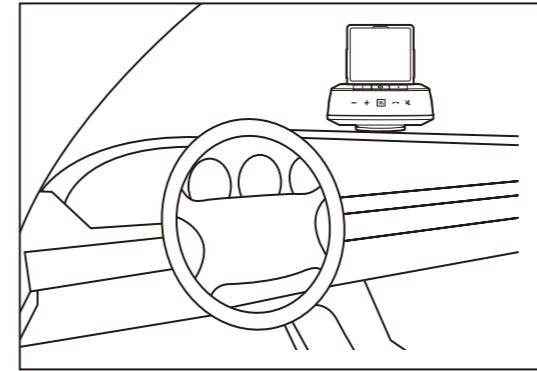
⑥ 本体を取り付け、銀色のネジを六角レンチで締める。

本体の角度を調節して、しっかりと締めます。

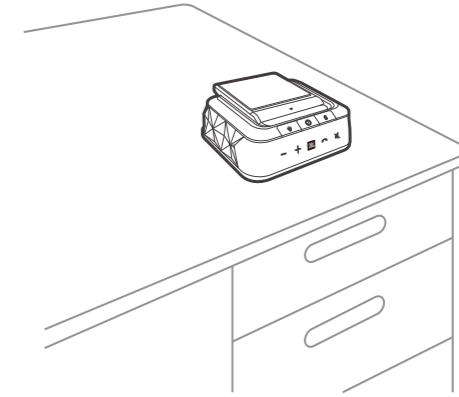
※締め付けが緩かったり、使用中に緩んだりすると、パッドがたためなくなる場合があります。

設置例

[車のダッシュボード上]



[机などの上]



ご注意

- シボ加工（表面にシワを付ける処理）されたダッシュボードや皮革素材、曲面状のダッシュボードの場合、吸盤の空気が十分に抜けず、脱落しやすくなる場合があります。必要に応じて、市販の吸盤基台ベースなどを使うことでしっかり取り付けることができる場合があります。本機が不意に脱落しないよう、十分ご注意ください。
- 視界や運転を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。
- 前面ガラスや側面ガラスには取り付けしないでください。
- 国土交通省の定める保安基準に適合した取り付けを行ってください。最新の保安基準については、国土交通省のwebサイトを確認ください。
- エアバッグの動作を妨げる場所には取り付けしないでください。
- 取り付け状態を常に点検し、不意の脱落が起きないように確認してください。

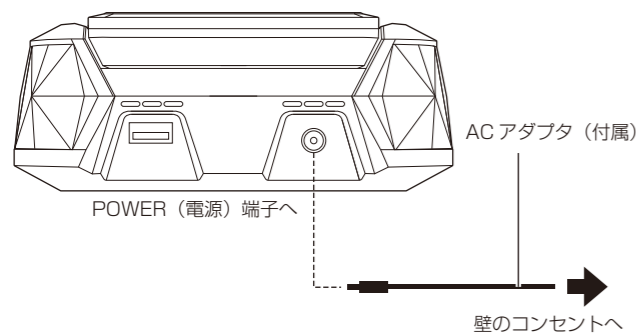
電源と接続する

本機は、AC 電源（壁のコンセント）または DC 電源（車のシガーソケット）に接続してお使いいただけます。

▶ 壁のコンセントに接続する

付属の AC アダプタを使用します。

- ① 付属の AC アダプタを本機の POWER（電源）端子に接続する。
- ② AC アダプタを壁のコンセントに接続する。

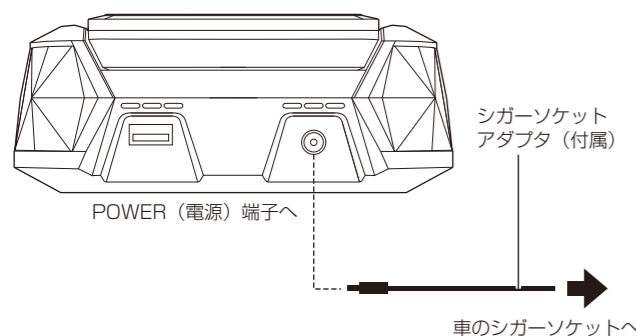


本機は国内の電圧にのみ対応しています。海外ではお使いいただけません。

▶ 車のシガーソケットに接続する

付属のシガーソケットアダプタを使用します。

- ① 付属のシガーソケットアダプタを本機の POWER（電源）端子に接続する。
- ② シガーソケットアダプタを車のシガーソケットに接続する。



ご注意

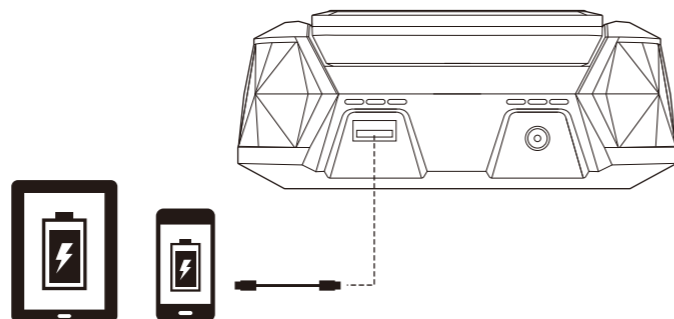
- 本機は 12V のシガーソケットにのみ対応しています。24V のシガーソケットではお使いいただけません。
- シガーソケットに確実に差し込んでください。
- コード類は運転を妨げないように引き回してください。

スマートホンなどを充電する

▶ Qi（チー）非対応モデルの場合

スマートホンなどに付属の USB ケーブルを使用して、スマートホンなどを本機の USB 端子に接続します。

本機の電源を入れると、充電が始まります。

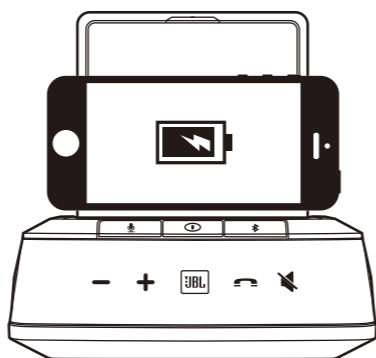


▶ Qi（チー）対応モデルの場合

Qi（チー）対応の SMARTBASE の場合、Qi に対応しているスマートホンやタブレットなどは、本機のパッドに装着する（載せる）だけでワイヤレス充電することができます。

充電するときは、本機の電源を入れてください。

パッドを起こした状態での充電例



Bluetooth 接続を行う

Bluetooth 機能を使ってワイヤレス再生を行うには、はじめに本機と Bluetooth 対応デバイスを認識させる「ペアリング」が必要となります。

▶ ペアリングを行う

以下の手順は一例です。詳細については、接続する機器の取扱説明書も併せてご覧ください。

- ① 電源ボタン (Ⓚ) を押して本機の電源を入れる。
- ② 電子音が鳴るまで Bluetooth ボタン (Ⓜ) を長押しする。
ペアリング設定状態になり、Bluetooth ボタン (Ⓜ) が点滅します。
- ③ デバイス側でペアリング操作を行い、登録 / 接続する。

iPhone/iPod/iPad の場合：

- ① iPhone/iPod/iPad をペアリング設定状態にする。
「設定」→「Bluetooth」の順にタップした後、「Bluetooth」を「オフ」から「オン」にします。
Bluetooth に接続できる機器の一覧が表示されます。
- ② 機器の一覧から「JBL Smartbase」を選択する。
デバイスに「接続済み」と表示され、本機で電子音が鳴るとペアリングが完了します。
ペアリングが完了すると、本機の Bluetooth ボタンが点灯します。



携帯電話・スマートホンでハンズフリー接続を行う場合：

- ① 携帯電話・スマートホンでペアリング操作を行い、登録 / 接続する。(パスキーが必要な場合は「0000」と入力する。)
ハンズフリー通話をしたい場合は「ハンズフリー (HFP)」、音楽再生のみ行いたい場合は「ワイヤレスステレオ (A2DP)」で接続してください。
• 登録にはお使いの携帯電話・スマートホンの「端末暗証番号」が必要になる場合があります。

その他のデバイス（携帯電話・スマートホンなど）の場合：

- ① ペアリング設定状態にする。
接続するデバイス側で、本機を検出可能な状態にします。お使いのデバイスの取扱説明書も併せてご覧ください。(パスキーが必要な場合は「0000」と入力します。)
一部のデバイスでは、接続を確認するメッセージが表示されます。
Bluetooth ボタンが青く点灯すると、ペアリングは完了です。

▶ Bluetooth 再生を行う

Bluetooth 再生を行うには、ペアリングを行ったあと、接続したデバイスで再生を始めます。

- 再生の手順については、接続するデバイスの取扱説明書も併せてご覧ください。
- 本機のハンズフリーボタン (Ⓜ) を押して再生を一時停止 / 再開することができます (一部対応していないデバイスがあります)。

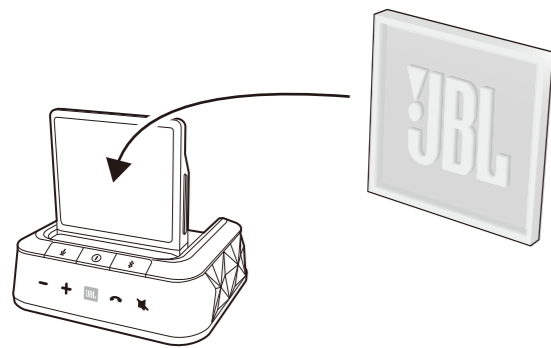
▶ Bluetooth 接続を解除する

iPhone/iPod/iPad で解除する

デバイス側で Bluetooth を「オフ」にし、接続を解除します。
あるいは、デバイス側で「JBL Smartbase」の接続登録を解除してください。

パッドを保護する

しばらく本機を使用しないときは、付属のパッド保護用シリコンカバーをパッド面に取り付けてください。



ハンズフリー通話を行う

本機のハンズフリーボタン (☎) でスマートホン・携帯電話の操作を行うことができます。

スマートホンとハンズフリー接続されている場合、着信があると本機で着信音が鳴ります。

着信音を停止したい場合は、音声アシスタントボタン (⊛) を押し続けてください。

状態	ハンズフリーボタンの操作	
	1 回押す	押し続ける
着信しているとき	電話を受けます。	着信拒否します。
通話中	電話を切ります。	本機から電話に通話を切り替えます。
通話中に別の着信があったとき	現在通話している電話を保留にし、着信している電話を受けます。	着信している電話を着信拒否します。
どちらの電話も着信 / 通話中の場合	両方の電話を切ります。	押し続けるごとに通話を切り替えます。

※機種により、一部の機能を使えない場合があります。

※携帯電話・スマートホンの取扱説明書も併せてご覧ください。

▶ Siri、Google Now を起動する

音声エージェントアプリに対応したデバイスが Bluetooth 接続されているときに、音声アシスタントボタン (⊛) を押すと、Siri または Google Now を起動させることができます。

・車に設置して使用しているときは、本機は車を停車させてから操作してください。

トラブルシューティング

症状	解決法
本機の電源ボタンを押しても電源が入らない。	本機が壁のコンセントまたは車のシガーソケットに接続されているかご確認ください。
本機のパッドに載せても、スマートホンなどのデバイスを充電できない。	スマートホンなどのデバイスが Qi (チー) に対応しているかご確認ください。 デバイスにケースを付けたままでは充電できない場合は、ケースを外してください。
電源は入るが、音が出ない。	ペアリングされているかご確認ください。 デバイス側の音量をご確認ください。 デバイス側の再生が一時停止になっていないかご確認ください。
音が歪む。	音量が上がり過ぎている場合は音量を下げてください。
ペアリングできない。	お手持ちの機器が本機と対応しているかどうかご確認ください。 別の機器と接続していないかどうかご確認ください。本機は一度ペアリングを行った機器の情報を記憶しています。音楽を再生したい機器を再接続する場合は、近くのペアリングされている Bluetooth 機器をすべてオフにし、本機の電源を入れ直してください。

主な仕様

出力	5W x 2
使用ユニット	33mm x 2
周波数特性	100Hz - 18kHz
S/N 比	80dB 以上
Bluetooth	バージョン : Bluetooth4.1
対応プロファイル	A2DP V1.3、AVRCP V1.5、HFP V1.6
Bluetooth 伝送範囲	通信距離約 10m (障害がない場合)
サイズ	幅 144mm x 高さ 67mm x 奥行き 131mm
質量	580g
使用推奨温度	0 ~ +50℃

ご注意

外表の汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた液を少し含ませた布でふき、その後乾いた布でふき取ってください。

▶ HARMAN Owners' Club

この度は JBL 製品をご購入いただき誠にありがとうございます。
HARMAN Owners' Club (ハーマンオーナーズクラブ) は、ハーマンインターナショナル取り扱い製品で愛用者のための会員プログラムです。

会員様に向けたさまざまな特典やサービスをお届けします。

<https://www.harman-ownersclub.jp>

このアドレスからアクセスしてください。

携帯電話 (フィーチャーホン) からはご登録できませんのでご注意ください。

▶ 製品に関するお問い合わせ

Tel : 0570-550-465 (ナビダイヤル)

<http://jp.jbl.com/support-product.html>

メールでのお問い合わせは、上記 URL よりお問い合わせフォームをご利用ください。

受付時間 : 土日・祝日・年末年始を除く、平日 9:30 ~ 17:30



- Bluetooth ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標です。
- 「Qi」は、Wireless Power Consortium の登録商標です。
- Harman International Industries, Incorporated は、これら商標を使用する許可を受けています。
- JBL は米国およびその他の国々における Harman International Industries, Incorporated の登録商標です。



ハーマンインターナショナル株式会社

© 2019 Harman International Japan Co., Ltd. All rights reserved.